



1937年、東京生まれ  
早稲田大学教育学部社会学科  
卒業  
88年株式会社フジテレビジョン  
代表取締役社長に就任。  
2001年、同代表取締役会長、  
08年には株式会社フジ・メディ  
ア・ホールディングスの代表取締  
役会長を兼任。  
ほかに(財)彫刻の森美術館理  
事長、(公財)東京都歴史文化  
財団理事長、東京文化会館館  
長などを歴任。  
1950年ボーイスカウト東京第  
32隊入隊(後の千代田第2団)。  
菊スカウト進級の後、隊長も務め、  
昭和63年度まで団委員を務める。  
現在、東京連盟維持財団理事。  
日本連盟副理事長。  
1998年藍綬褒章受章  
(ひえだ・ひさし)

## ボーイスカウト関係著名人インタビュー

# 日枝 久

株式会社フジテレビジョン 代表取締役会長

1980年代より「楽しくなければテレビじゃない」のキャッチフレーズとともに、現在の活気あふれるフジテレビを作り上げた立役者である日枝代表取締役会長。なんと氏は菊スカウトまで進級したのち隊長も務め、団委員までなされたという、根っからのスカウトでもありました。

——日枝さんはフジテレビで活躍されて社長になり、今は会長を務めておられます。なぜテレビ局に入られたのですか。

**日枝** 小学生から大学生までスカウティングをやり、隊長も務めていました。大学では教職課程も取っており、学校の先生になるか、ジャーナリストになるか考えていました。教育実習に行った時でした。生徒たちがなついて、部屋に遊びにくるようになりました。夏の暑い日にアイスを買ってこさせて皆で食べたりしていました。するとある日、職員室で怒られたんです。教育者の態度ではない、と。職員室の雰囲気は嫌いでしたね。

——それで教員はやめたのですか。

**日枝** 友人の兄が理工系で、当時まだ実験

段階のテレビ受像機を組み立てていました。「これからの時代はテレビだぞ」などと言われていた。そしてある日、運命的な一日が訪れました。夏休みのある日に、ふと大学のキャンパスに行き、イチヨウの木の下ベンチにまどろんでいました。すると通りかかった先生から、フジテレビが採用を始めるが、実習を受けるのが応募条件で、その実習に行ってみないかと声をかけられたのです。人生、運命の一日というのは本当にあるのだな、と歳を取った今になってつくづく思います。あの日、大学に行っていなければフジテレビとの出会いはなかったでしょう。

——フジテレビでは若い頃からいろいろあったようですね。

**日枝** 世の中の人は私の会社人生が順風満帆だったようにいいますが、そんなことはありません。本当にいろいろありました。

——組合を作ったそうですね。

**日枝** 当時のフジテレビは「女子25歳定年制」がありました。こういう会社を変えるには組合がなければダメだと思い、組合活動をして、結果、書記長になってしまいました。

——それで当時の経営者に睨まれて飛ばされた、とか。

**日枝** 飛ばされたのは事実ですね。でも腐りませんでした。むしろ「よっしゃ、やってやろう」と燃えたんですがね。そんな意欲が伝わると仲間もがぜんやる気になる。僕にとってはプラスでした。

そして、42歳の時に編成局長になりました。前任もその前も皆視聴率が稼げない責任を取らされていなくなっていた。これで俺のサラリーマン人生は終わりだな、と思いました。どうせ終わるなら思い切ってやりたい事をやろうと割り切ったんです。

——そして、「楽しくなければテレビじゃない」をキャッチフレーズに改革に乗り出したんですね。

**日枝** 長年ダメだなと思ってきたことを全部見直しました。視聴率表を貼り出す慣行をやめたり、多かった稟議書も印の数を少なくしました。会議も思い切って減らしました。どんどん制約もなくなりました。「オレたちひょうきん族」などが若者に受けると、社内に「うちって、できるんだ」というムードが広がっていきました。社内のあちこちで眠っていた才能が、ぐぐぐと出てくるのを感じましたね。番組作りの現場に対して、規制なんてない、挑戦できるんだ、という意識を植え付けた。「楽しくなければテレビじゃない」というのはもともと、社内に向けたキャッチフレーズだったんです。見られる番組というのは楽しいし、面白いんです。

——若者や女性の支持を得てフジテレビは黄金期を迎えることになったわけですね。ところで、ボーイスカウトの経験がなければ、そうした日枝さんの成功はなかったと思いますか。

**日枝** 一面その通りだと思います。会社に入ってボーイスカウトの経験が生きました。スカウティングの班組織は会社組織の縮図です。その班の中でチームワークやリーダーシップの体験を通じて自然に学んだわけですね。班長はいろんな性格のスカウトたちがいる班員のマネジメントをやらなければいけない。隊長は班ごとを競争させな

## CONTENTS

- 02\_ 新しい指導者養成体制スタート
- 04\_ ボーイスカウト15万人の絆物語  
東日本大震災 とともに進んだ1年【前編】
- 08\_ 著名人インタビュー  
日枝 久 (株)フジテレビジョン  
代表取締役会長
- 10\_ 創立90周年記念事業 (概要)
- 11\_ 第11回日本アグーナリイ情報
- 12\_ 平成24年度事業予定・指導者訓練  
コース開設予定
- 13\_ 世界ジャンボリー派遣の成果と  
効果測定の意義
- 13\_ 信仰奨励
- 14\_ ボーイスカウト15万人の絆物語  
東日本大震災 とともに進んだ1年【後編】
- 17\_ 事故ゼロの目標に向けて!
- 18\_ 16NJ大会情報/「ウェルカム・ザ・  
ワールド」プロジェクト
- 20\_ 日本連盟情報
- 22\_ ローカルホットライン
- 23\_ スカウティングの  
知っててちょっと良い話 (15)
- 25\_ Creating a Better World
- 26\_ スカウトショップ
- 27\_ ベンチャースカウト部門の  
新しいプログラム
- 28\_ アクティビティ  
フィールド・サインを探せ
- 30\_ スカウトスキル  
自然水を浄化して、安全に飲もう

がら、隊として全体のレベルアップを図る。これもマネジメントです。子どもながら知らず知らずのうちに組織論を勉強していたこととなります。それも体験を通じて生で勉強できたのだと思います。

——ボーイスカウトとの出会いは

**【目録】** 小学生の頃でした。義兄がボーイスカウトを作るというので、入れてもらうことになったんです。といっても、敗戦後の物のない時代です。ゲートルの布を使ってハットを作ったのを覚えています。

とにかくワクワクしていました。当時のテントは厚いゴムシートの代用品で、支柱も太くて重かった。キャンプに行くときは、それをスカウトが手分けして背負っていきました。今なら荷物はトラックで運び、貸し切りバスで移動ですが、当時は荷物は自分たちで持ち、電車です。キャンプ地も、何も無い山奥で、水探しから始めた。今はキャンプ場以外では難しいでしょうが、当時は大冒険でした。時代が変わったとはいえ、今のスカウトはそうした冒険がなかなかできません。可哀想だなと思いますね。

——就職後も活動は続けていたのですか。

**【目録】** 就職後は原隊での活動はなかなかできません。育成会員として長年登録していました。2010年に日本連盟が公益財団法人として組織変更されるに際して、奥島孝康理事長に声をかけられ、副理事長をお引き受けしました。第15回日本ジャンボリーにはもちろん制服を着て参加しましたが、制服を着たのは50年ぶりだったでしょうか。感動しましたね。

——そして、日本のボーイスカウトの改革に取り組むことになったわけですね。

**【目録】** 「楽しくなければスカウティングじゃない!」ということでしょう。時代によってスカウティングのあり方も変わらざるを得ないのは当然だと思います。ただ、基本は変わらない。キャンプや規律や感謝、荘厳なセレモニーなどを通じて、国や国旗の大切

さなども身につけていく。染み込んでいく。世のため人のために役立つという奉仕の精神がスカウティングです。「そなえよつねに」とか「日日の善行」というのはこの運動の根っこなわけです。朝、ネッカチーフの先を結んでおいて、良いことをしたらほどく、という昔スカウトがやっていた光景もあまり目にしなくなったように思います。原点をきちんと見つめ直すことが必要ですね。

今の社会は制約が多くなって、子どもたちが冒険をするチャンスが減っています。だからこそ、ますますスカウティングが必要になってきています。グローバル化がいはれていますが、スカウティングはもともと世界的な運動です。

——ビジネス界にもスカウト経験者が多くいますね。

**【目録】** 先日、ある会でソニーのハワード・ストリンガー会長とご一緒しました。彼は英国のスカウトだったという噂を聞いていたので、ナプキンにネッカチーフにして首に巻き、三指の礼をしてみました。それをきっかけに意気投合したのはいうまでもありません。スカウト同士だということだけで、すぐに仲良くなれる。スカウト運動のすばらしいところです。2015年の世界ジャンボリーに向けて、この運動のすばらしさをもっともっと世の中に発信していくべきです。



聞き手/磯山 友幸  
経済ジャーナリスト。1962年生まれ。日本経済新聞社でチューリッヒ支局長などを務めて2011年3月末独立。日本連盟広報委員。富士スカウト。

## 日本連盟

## 3月・4月の主な予定

(発行日時時点で実施済みのものを含みます)

- 3月4日(日) ○スカウト教育推進会議 (第4回)
- 3月6日(火) ○政策委員会 (第11回)  
○運営会議 (第11回)
- 3月13日(火) ○理事会 (第3回)  
○臨時評議員会
- 3月24日(土) ○名誉会議 (第2回)

- 4月10日(火) ○政策会議 (第1回)  
○運営会議 (第1回)  
○危機管理委員会 (第1回)
- 4月21日(土) ○16NJ実行委員会
- 4月22日(日) ○11NA実行委員会
- 4月24日(火) ○政策会議 (第2回)
- 4月26日(木) ○宗教関係代表者会議